

ひとが輝き みんなでつくる
安心と活力のまち はむら



平成25年度 羽村市の予算
わかりやすい最初の一歩！



平成25年3月

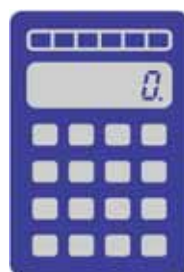
羽村市



目次

Contents

予算って何？	1
市の収入	3
市税の状況	4
市の支出	6
市債の状況	7
基金の状況	9
市の財政状況	12



予算って何？

ここは羽村市のとある家庭・・・夕食後の食卓をのぞいてみると・・・
あれ？太郎くんが何やら難しい顔をしています。



： ねえ、お母さん、今度学校で僕たちの住んでいる羽村市の予算について勉強することになったんだ。でも、なんだか市の予算ってとっても難しいし、興味もわからないんだよね・・・



： あら、自分たちの住んでいる市のことについて勉強することは、とっても大切なことよ。私たちが納めている税金がどのように使われているのかわかることって、私たちが地域の主人公として地域づくりに参加する一つの手段でもあるわけだし。なんてたって市や町が倒産することだってあるんだから。



： 市が倒産だって？お母さん、オーバーだなあ。そんなことあるわけないよ。自治体は会社じゃないんだし・・・必要なお金は税金でまかなってるでしょ。



： いいえ、全国的に見ても、それぞれ自治体の財政は厳しい状況にあるのよ。少子高齢社会が進んで、福祉や医療などの社会保障の経費が増えているし、市の借金だって、ばかにならないのよ・・・。最近、経済不況の影響も大きいという話も聞くし。



： へえ、市が借金だって。何だか我が家のことみたいだね。



： そうよ、市の予算だって、家の家計みたいなもんよ。そういう見方をすると市の予算だって分かりやすいわよ。平成25年度の市の予算について、家計に例えて見てみましょうよ。



： う～ん・・・でも、そもそも市の予算って何なんだろう・・・??

！ 予算とは・・・

自治体が、様々な事業をするために必要な収入と支払い（支出）を見積もり、一覧表にして市民の皆さんが納める税金や国・東京都からの補助金などがどう使われるのか、どのように市民にサービスとして戻されるのかを示したものです。予算は市民の代表である議会の議決によって出来上がり、市民の皆さんにお知らせすることが義務づけられています。



： 家計に例えてって言ったけど、市の予算って、一体どれ位の金額なのかしら・・・？

- 平成25年度 羽村市の予算額 -

区 分	金 額
一 般 会 計	209 億 8,000 万円
特別会計等	131 億 821 万円
合 計	340 億 8,821 万円

* 特別会計等には、水道事業会計を含みます。



一般会計とは…

予算は一つの大きな見積表に「収入」と「支出」を載せてやり繰りするのが原則ですが、家計において家族が別々にお財布を持つように、地方自治体のやり繰りを行う別個の財布があり、これを「会計」と言います。

一般会計：地方公共団体の基本的な経費をやり繰りする予算です。市の根幹となるお財布と言えます。

特別会計：特定の事業を行う場合、そこから発生する特定の収入を、支出にあてて独立してやり繰りをするためのお財布です。一般会計のお財布から必要なお金のやり取りがあります。

市にはこうしたお財布（特別会計等）が6つあります。

- 特別会計等の予算額 -

区 分	金 額
国民健康保険事業会計	64 億 9,300 万円
後期高齢者医療会計	8 億 5,840 万円
介護保険事業会計	26 億 2,770 万円
羽村駅西口土地区画整理事業会計	4 億 1,530 万円
下水道事業会計	12 億 7,950 万円
水道事業（公営企業）会計	14 億 3,431 万円



： 一般会計で209億8,000万円って、我が家の家計の何倍かしら…え~っと…え~っと…え~っと…



： お母さん、しっかりして!! でも額が大きすぎてピンとこないよ。もっと身近な数字で考えないと…



一般会計を市民一人あたりに換算すると…

一般会計の予算額を、平成25年1月1日現在の人口で割ると、**36万6,546円**になります。(人口：5万7,237人 住民基本台帳人口)

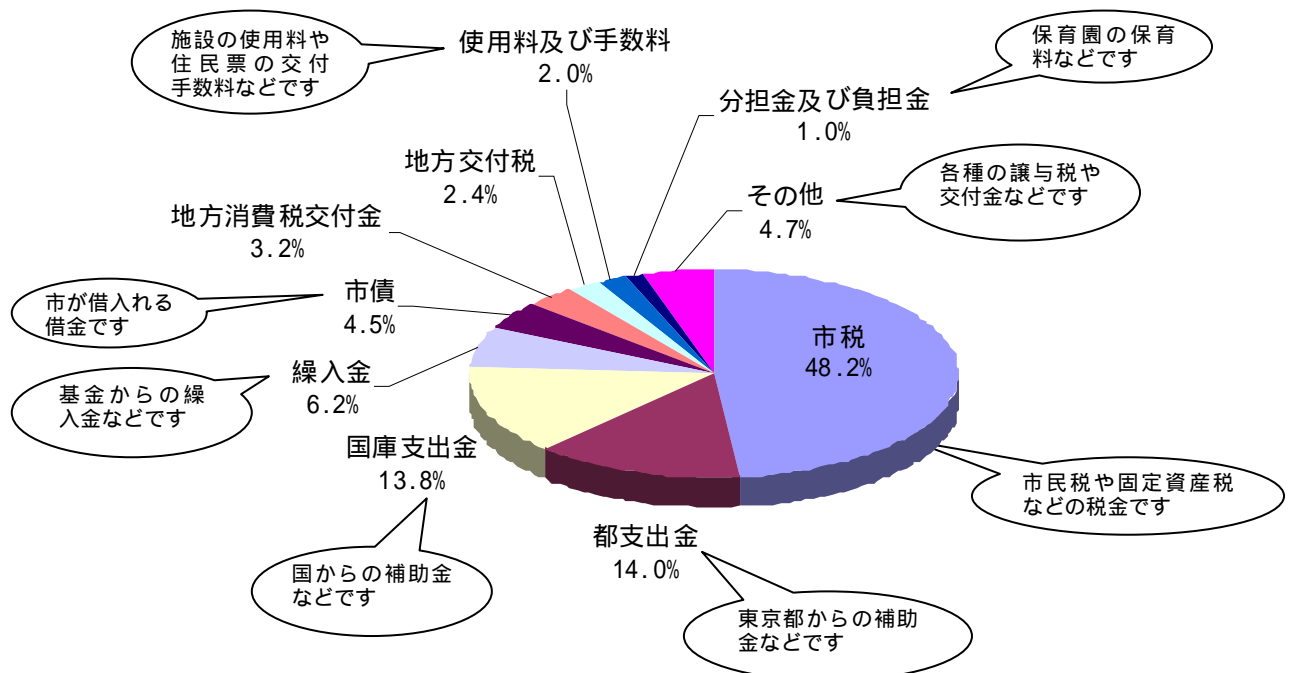


ふ～ん…36万円かぁ。何となく身近な数字になってきたぞ。一ヶ月の家計位かな。どんなことにお金がかかって、どんなお金が入ってくるのかなぁ。

市の収入

市の収入の内訳は次の表・グラフのとおりです。

区 分	予 算 額
市 税	101億 1,062万円
都 支 出 金	29億 2,959万円
国庫支出金	28億 8,846万円
繰 入 金	13億 1,221万円
市 債	9億 3,600万円
地方消費税交付金	6億 6,895万円
地方交付税	5億 0,000万円
使用料及び手数料	4億 2,353万円
分担金及び負担金	2億 1,756万円
そ の 他	9億 9,308万円
合 計	209億 8,000万円



- 市民一人あたりの収入の状況は -

(歳入の各区分を平成25年1月1日現在の人口で割ると)

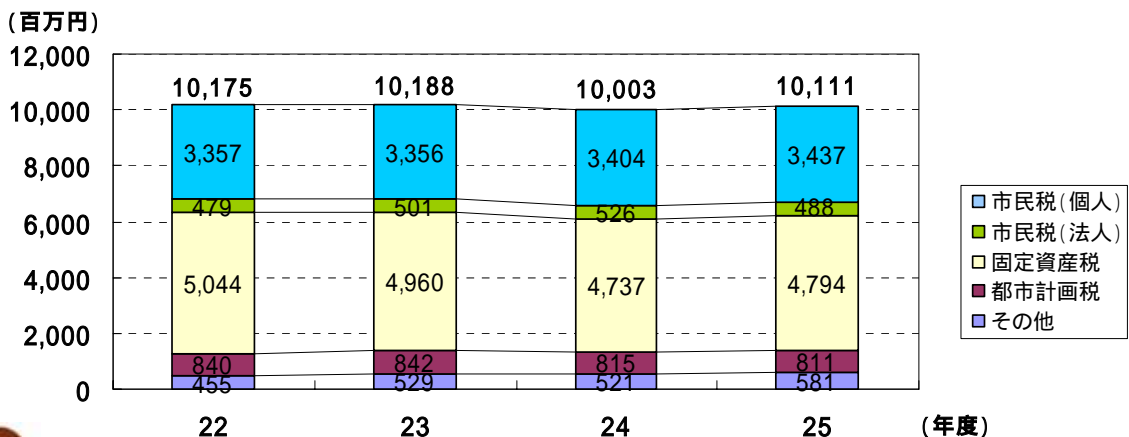


: そうか・・・やっぱり市の予算に占める税金の割合って大きいんだね。それじゃ税金の内訳はどうなってるんだろう。会社やお店が納める税金もあるし。市の収入に欠かせない税金は、ここ数年はどんな状況なんだろう。

市税の状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
市税全体	101億7,548万円	101億8,797万円	100億 312万円	101億1,062万円
税目別内訳				
市民税(個人)	33億5,710万円	33億5,616万円	34億 384万円	34億3,675万円
市民税(法人)	4億7,879万円	5億 117万円	5億2,600万円	4億8,803万円
固定資産税	50億4,443万円	49億6,000万円	47億3,700万円	47億9,379万円
都市計画税	8億4,008万円	8億4,218万円	8億1,531万円	8億1,133万円
市たばこ税	3億9,456万円	4億6,699万円	4億6,093万円	5億1,882万円
軽自動車税	6,052万円	6,147万円	6,004万円	6,190万円

22・23年度は決算額、24・25年度は当初予算額です。



: へえ・・・市民が納めている税金の収入って、結構大きいんだなあ。でも、税金は国や東京都にも納めているんじゃないのかなあ・・・。



税源移譲

地方自治体が、今まで以上に自主性を発揮して市民により身近な行政サービスを行うために、平成19年度からは、市民の皆さんが国に納めていた税金（所得税）の一部が地方自治体に住民税として納められるように移し替えられました。これを税源移譲と言います。市民の皆さんが納める税金の額には変わりがないように制度が作られています。

ただし、税金による市の収入が増えている分、国からの補助金などは減っています。「地方のことは地方で」。市民の皆さんや地域の実情に一層合った行政サービスが行えるように仕組みが変わってきています。



： ふ〜ん… そうすると、今まで以上に、市はまちづくりについて自分で決めていくことが増えるってことなのか。ますます自分たちの納めた税金がどう使われているのか知らないといけないんだね。

あれ？ グラフを見ると、平成25年度は前年度予算より税収が1億円程増えるんだね？



4 ページの表では、平成22年度と平成23年度は決算額で確定値を示していますが、予算額ベースで比較すると、税収見込みが前年度を上回るのは5年振りです。

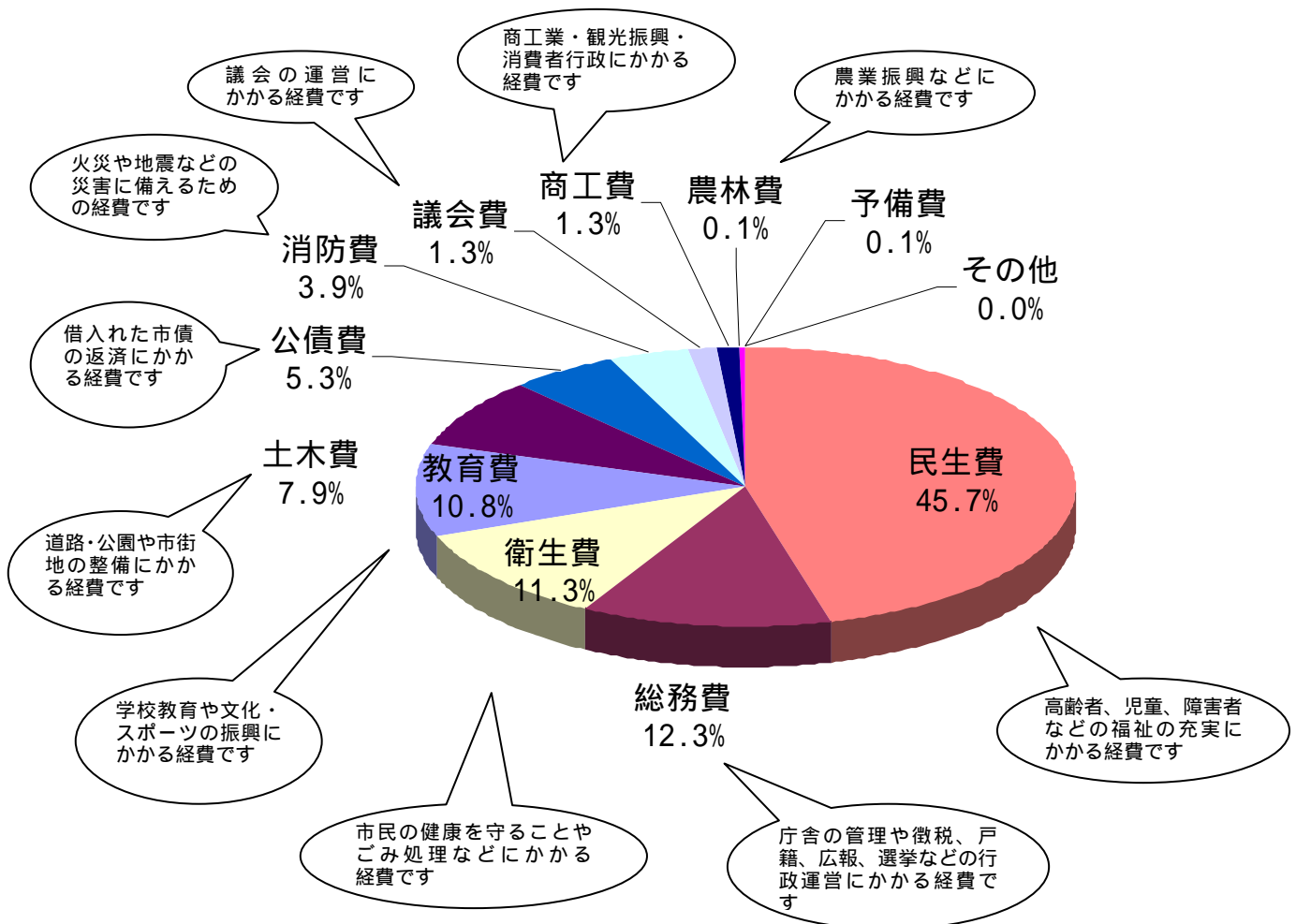
前年度予算比で増加する主な税目は、市民税（個人分）、固定資産税、市たばこ税で、市民税（個人分）は、未納者を減らす特別徴収推進対策の強化や税制改正などの影響、固定資産税は、新築家屋の増加が見込めること、市たばこ税は市民税（法人分）の実効税率の引下げに伴う税率の調整措置が図られたことなどを見込んだものです。

一方で、市民税（法人分）は、実効税率の引下げによる影響などにより減収を見込んでいます。

市の支出











市の支出の内訳は次の表・グラフのとおりです。

区分	予 算 額	構成比
民生費	95億8,078万円	45.7%
総務費	25億7,709万円	12.3%
衛生費	23億6,543万円	11.3%
教育費	22億6,693万円	10.8%
土木費	16億5,432万円	7.9%
公債費	11億1,288万円	5.3%
消防費	8億1,428万円	3.9%
議会費	2億7,515万円	1.3%
商工費	2億7,019万円	1.3%
農林費	3,083万円	0.1%
予備費	2,600万円	0.1%
その他	612万円	0.0%
合計	209億8,000万円	100.0%



- 市民一人あたりの支出の状況は -

(歳出の各区分を平成25年1月1日現在の人口で割ると)

議会費 4,807円 	総務費 45,025円 	民生費 167,388円 	衛生費 41,327円 	商工費 4,721円 
土木費 28,903円 	消防費 14,226円 	教育費 39,606円 	公債費 19,443円 	その他 1,100円 



: そうか、僕たちの学校のことなどに関係する教育費は、市民一人あたりにすると39,606円かかっているってことなんだね。



: 我が家でも「児童手当」をもらっているけど、生活保護費や障害者福祉費、高齢者福祉費などの民生費は、最も多い167,388円かかっているのね。



: 公債費ってあるけど、これがお母さんが「ばかにならない」って言った市の借金のことですよ。市の借金を市民の税金で返してるんだ。そもそも何で市が借金なんかするんだろう？借金なんて無いほうがいいのに…

市債の状況



市債とは

公共施設を建設したり、道路や下水道を直したりするには一度に多額のお金が必要になります。このお金の不足を補うために、市は「長期ローン」で国や東京都、銀行などから借金をします。これを市債と言います。

市債は無いほうが良いのでしょうか？

実は、市債にはお金の不足を補う役割のほかに、もう一つ目的があります。それは、公共施設など将来に渡って利用するものについて、現世代の市民だけに負担してもらうのではなく、将来、便益を受けることとなる後世代の市民にも公平に負担してもらおうという「世代間負担の公平」の目的です。

そのため、市では将来の負担が重くなり過ぎないように注意しながら、必要な借金を計画的に借入れるように努めています。

- 25年度の市債は・・・ -

庁舎耐震改修等事業債	1億6,000万円
富士見霊園拡張等整備事業債	5,600万円
臨時財政対策債	7億2,000万円(参考 24年度6億円)

臨時財政対策債とは、地方一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法第5条の特例として発行される地方債で、地方交付税制度を通じて発行可能額が算定されます。



： 我が家にも住宅ローンや車のローンなんてあるけど、お父さんのお給料で返せるように計算して借りているし。バランスが大事よね。
ところで、市の借金ってどれくらいあるのかしら・・・

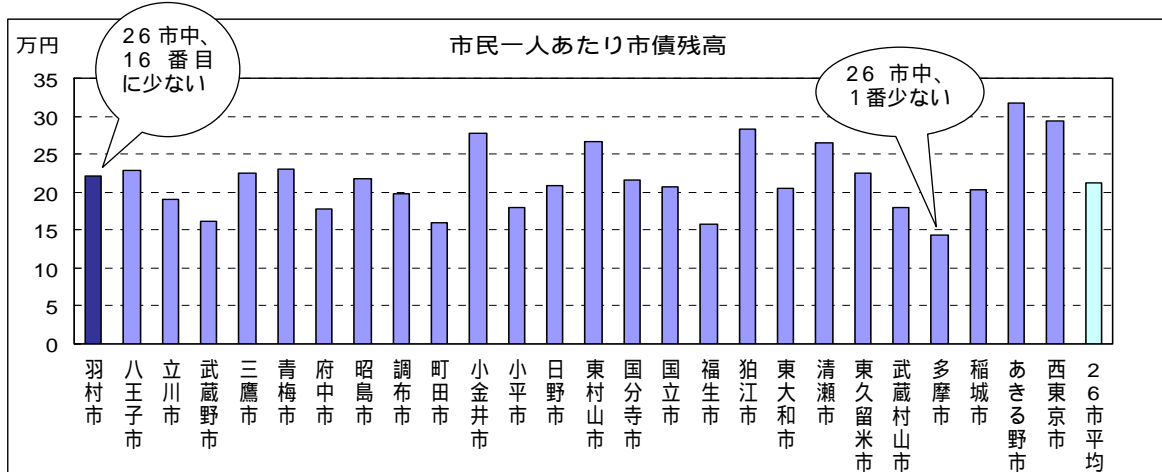
- 一般会計市債残高見込み -

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
市 債 借 入 額	9億0,000万円	8億3,200万円	6億4,500万円	9億3,600万円
市 債 返 済 額	12億2,091万円	11億6,212万円	11億3,284万円	11億1,046万円
元 金	10億2,732万円	9億8,121万円	9億6,554万円	9億4,461万円
利 子	1億9,359万円	1億8,091万円	1億6,730万円	1億6,585万円
市 債 残 高	108億8,548万円	107億3,627万円	104億1,574万円	104億 712万円

平成23年度までは決算額、24年度は決算見込額、25年度は当初予算額です。
表示単位未満を四捨五入にしているため、端数が一致しない場合があります。

平成 25 年度末の残高の見込みは 104 億 712 万円です。市民一人あたりの借金の残高(見込み)は 18万1,825円です。

平成 23 年度の東京都 26 市における市民一人あたりの残高比較では、羽村市は 26 市中 16 番目に少ない市となっています。(平成 23 年度決算 普通会計)





: 借金があるってことは、貯金もあつたりするのかなあ。
お母さんのヘソクリみたいに…



: ゲゲッ!? なんでこの子、ヘソクリのことを知っているのかしら……??

基金の状況



基金とは

基金とは、一般家庭の「貯金」にあたります。将来の財政需要に備えて積み立てておいて、お金が不足する年に使ったり、施設の大規模な改修など特定の目的に使うために活用しています。基金は市の条例などに基づいて積み立て、運用を行っています。

- 一般会計基金残高見込み -

区分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
基金残高	41億7,991万円	45億2,097万円	48億8,181万円	37億3,596万円
財政調整基金	16億4,543万円	20億1,921万円	22億8,368万円	13億9,854万円
減債基金	214万円	215万円	215万円	215万円
特定目的基金	25億3,234万円	24億9,961万円	25億9,598万円	23億3,527万円

平成 23 年度までは決算額、24 年度は最終補正額、25 年度は決算見込額です。

財政調整基金 = 年度間の財源不足などを調整するための基金です。

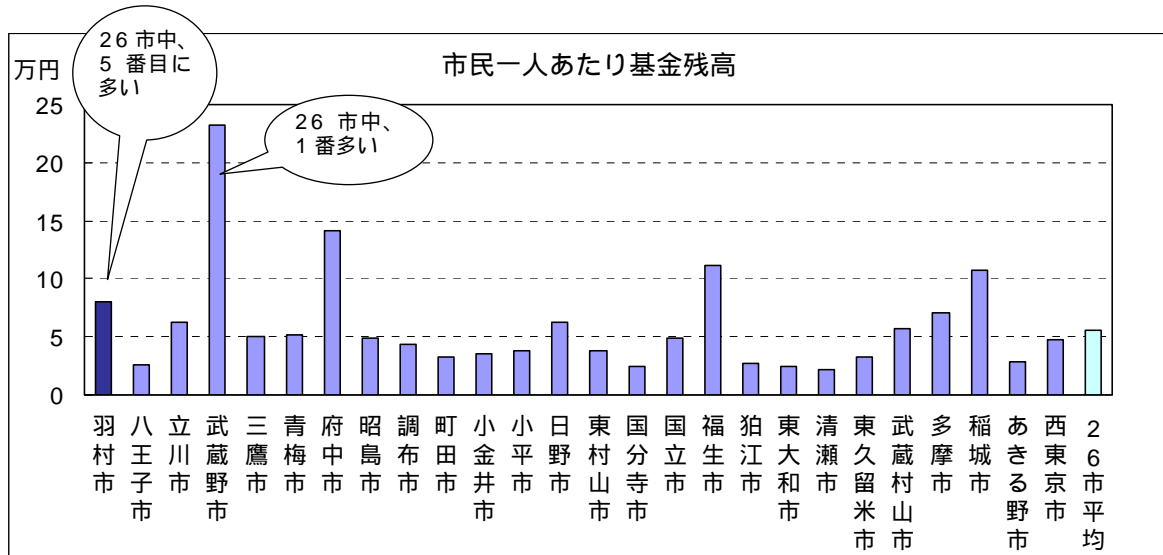
減債基金 = 市債の返済を計画的に行うための資金を積み立てる基金です。

特定目的基金 = 特定の使用目的のために資金を積み立てる基金です。 (例) 教育振興基金



平成 25 年度末の貯金額の見込みは 37 億 3,596 万円です。市民一人あたりの貯金額（見込み）は 6 万 5,272 円です。

平成 23 年度の東京都 26 市における市民一人あたりの貯金額の比較では、羽村市は 26 市中 5 番目に多い市となっています。（平成 23 年度決算）



： どの市も貯金や借金があるんだね。
 でも、どの自治体も財政は厳しいって、よく言ってるようだけど・・・
 僕の住んでいる羽村市はどうなんだろう？

平成 25 年度一般会計予算を一世帯あたりの家計簿で見ると・・・

平成 25 年度一般会計予算を、太郎くんの家の毎月の家計費 20 万円に置き換えて考えると、一世帯あたりの収入・支出の内訳は次のとおりとなります。

収入		支出	
給料 (市税)	96,400 円	子どもなどへの援助 (補助費等・繰出金)	55,000 円
親からの支援 (国・都支出金、地方譲与税など)	62,000 円	医療費 (扶助費)	54,600 円
ものを売ったお金、貯金の利子や配当(その他)	13,200 円	食費・家賃 (人件費)	33,800 円
貯金の取り崩し (基金繰入金)	12,400 円	光熱水費・電話代 (物件費)	30,600 円
銀行などからの借入れ (市債)	9,000 円	庭の整備、家電製品の購入 (普通建設事業費)	12,200 円
パート収入 (使用料・手数料、分担金など)	6,000 円	ローンの返済 (公債費)	10,600 円
前月から繰り越したお金 (繰越金)	1,000 円	その他 (積立金など)	3,200 円
合 計	200,000 円	合 計	200,000 円

太郎くんの家では、給料が 9 万 6,400 円のため、月の家計費 20 万円には 10 万 3,600 円不足してしまいます。そのため、親からの支援や貯金の取り崩し、銀行などからの借入れを行うなどして家計費を補っています。

借金や貯金の取り崩しを少なくするため、支出の面でも将来のことを考え、余計なものは買わないなどの努力をしていますが、家族の医療費なども増加してしまい、厳しい家計状況はここ数年変わっていません。

将来への貯蓄も必要なので、太郎くんには欲しいものを我慢するなど引き続き協力してもらわなくてはなりません・・・。



： 20 万円の家計費のうち給料が半分以下かぁ。支出では、医療費（扶助費）が家計費全体の 4 分の 1 以上になっているんだ～。

家計のためには、僕も欲しいものを我慢しなくちゃダメかなぁ～。

市の財政状況



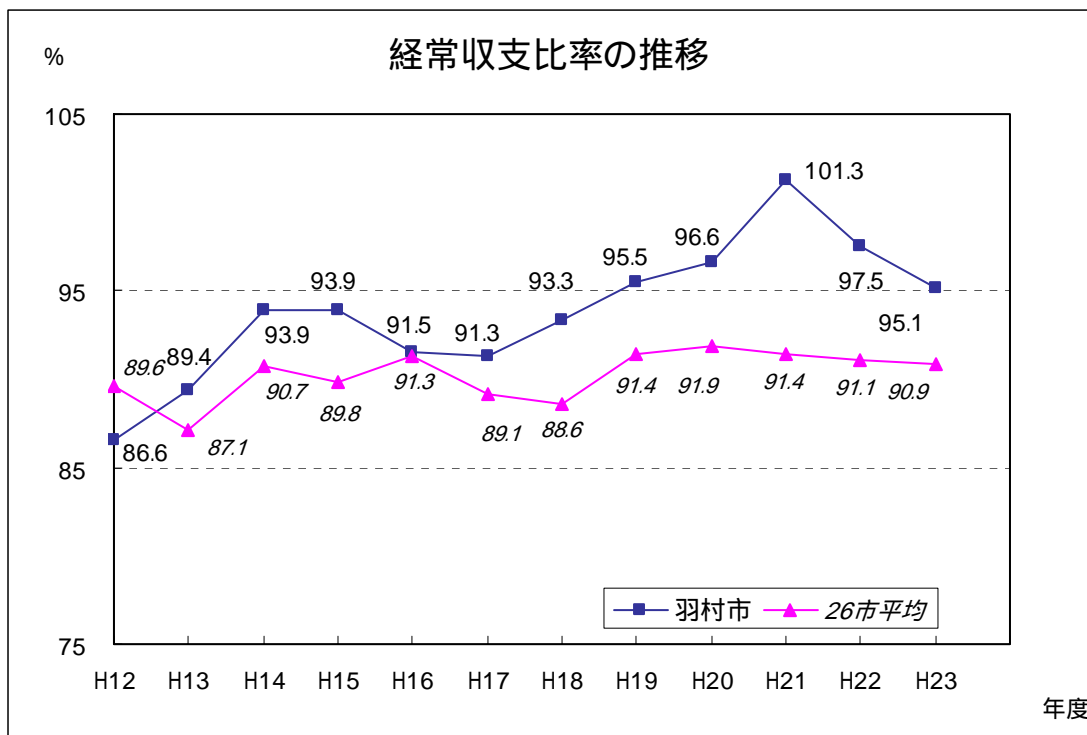
： 地方自治体の財政状況を知る一つの目安に「経常収支比率」っていうのがあるって聞いたことがあるけれど…



経常収支比率(けいじょうしゅうしひりつ)とは

市が毎年の事業を行うにあたって、福祉や医療などの社会保障に係る経費や市の借金の返済、市役所の職員の給料など「決まって支払われる経費」に対して、税金や施設の使用料など「決まって入ってくる収入」がどの程度使われているかをみる指標です。家計に例えるなら、毎月の生活費やローンの返済にお給料がどれ位使われているか…、といったイメージでしょうか。

この指標が高いということは「自由に使えるお金が少ないので、新しい事業にお金が振り向けられないという状態」ということでもあり、柔軟な財政の運営が難しい状態とも言われます。最新のデータ(平成23年度決算)では、羽村市の経常収支比率は95.1%となっています。(26市中20位)



： 平成21年度から年々良くなってきたようだけど、26市の平均を大きく超えているということは、他市に比べて自由に使えるお金が少ないってこと？
他の目安になる指標は、あるのかなあ…

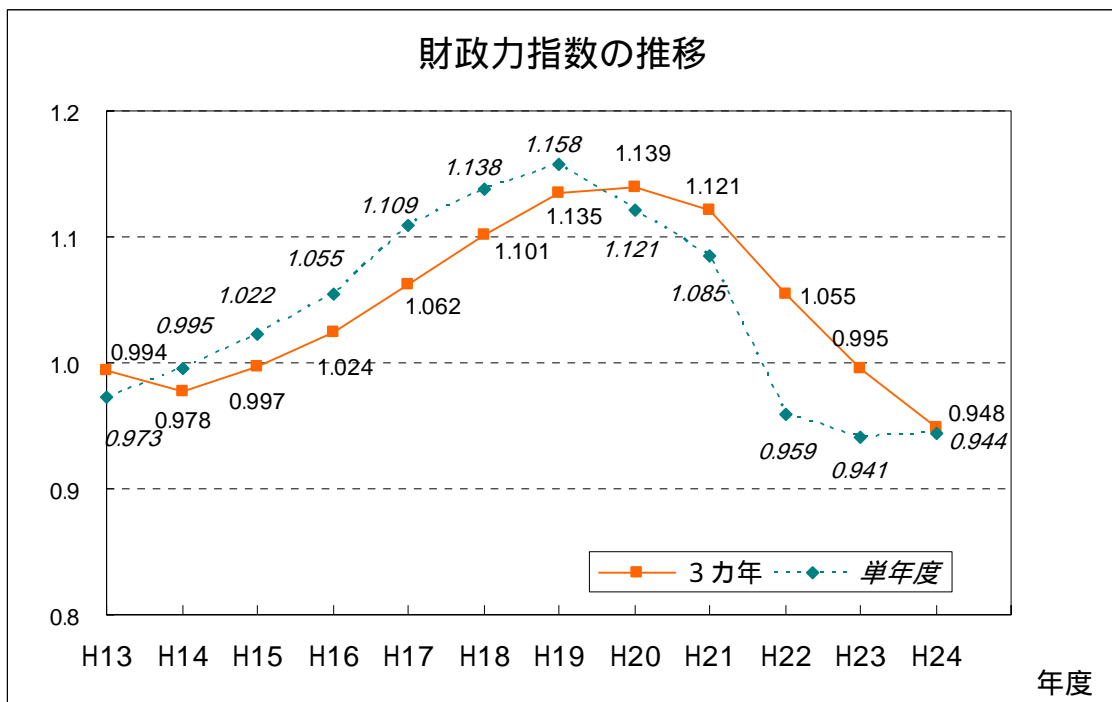


財政力指数(ざいせいりょくしすう)について

財政力指数は、財政力を表す指標です。地方交付税の算定に伴って算出される数値で、この数値が高いほど財政力があるといわれ、単年度で1を超えると普通交付税が交付されない不交付団体となります。他団体と財政力を比較する場合には、その年度を含めた3か年の平均値を使用します。

最新のデータ(平成24年度)では、羽村市の財政力指数は0.948(3か年平均)、単年度では、0.944です。平成24年度も財政力指数が単年度で1を下回り、引続き普通交付税の交付団体となりました。全国の市町村1,719団体のうち、不交付団体は54団体のみであり、近年の経済不況が全国の自治体に大きな影響を及ぼしているものと考えられます。

普通交付税制度は、国が地方公共団体の税源の不均衡を調整し、一定の行政サービスが提供できるよう財源を保障するものであり、交付税が交付される団体になったからといって、市の財政が赤字になったということではありません。



: びっくりした！市の財政が赤字になったのかと思ったわ。不況の影響で市の収入が減ってしまったから、国が補償してくれているということよね。でも補償なしでやっていける自治体が全国で54しかないというのは驚きよね。



: そうだね～。僕がお母さんからお小遣いをもらっているのと同じように、市も国からお小遣いをもらっているということかな～。

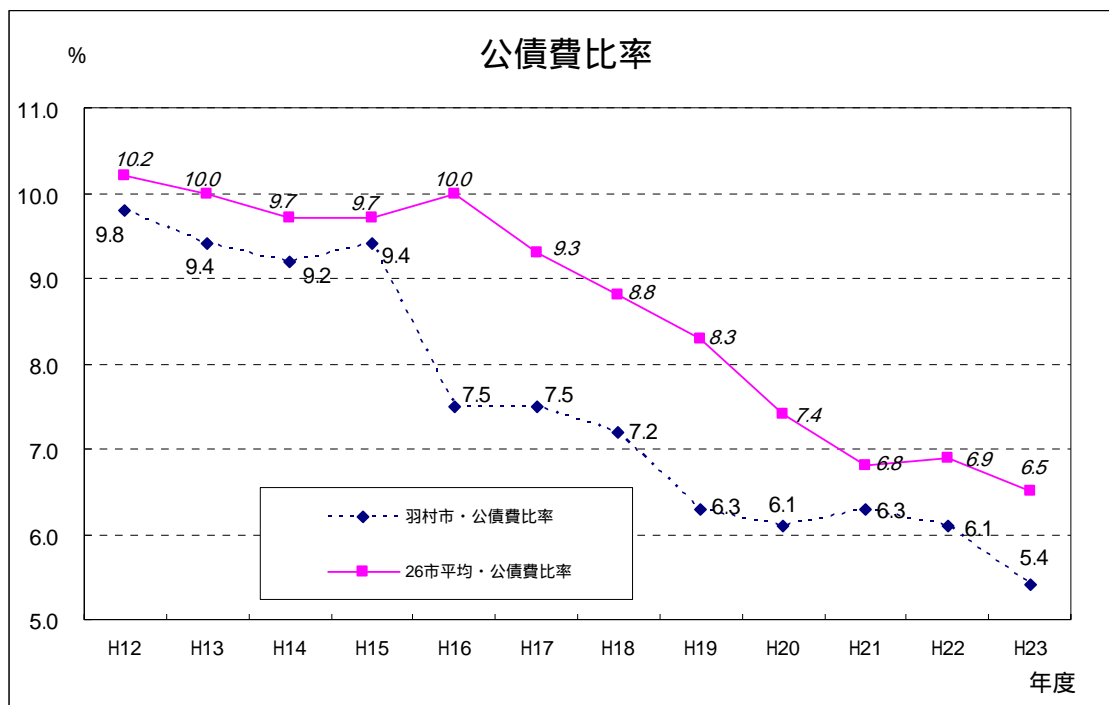


公債費比率(こうさいひひりつ)・実質公債費比率(じっしつこうさいひひりつ)について

公債費比率は市の支払額の全体に占める借金の返済額の割合から、市の借金の状況を判断するための指標です。この比率が高いほど、市の財政が厳しい状況と言えます。家計に例えるなら、月々の家計のやりくりの中にどれ位ローンの支払いが占めているか・・・、といったイメージでしょうか？この数値は一般的に 10%を超えないことが望ましいとされています。

また、実質公債費比率は上記に加え、下水道事業や市が関係する組合（福生病院や西多摩衛生組合 etc）などの借金を市がどの位負担しているかを判断する目安です。この数値が 18%を超えると市が借金をするのに国や東京都の許可が必要となります。

最新のデータ（平成 23 年度決算）では、羽村市の公債費比率は 5.4%（26 市平均 6.5%）、実質公債費比率は 4.9%（26 市平均 2.5%加重平均）となっています。



： 市の財政状況を計る物差しているいろいろあるのね。公債費比率は 26 市の平均より低くなってことね。これからも、堅実な財政運営をして欲しいわ。

よし！今日から我が家も家計の見直しをするわよ！

太郎とお父さんのお小遣い、来月からカットね！



： えー、そりゃないよ！ とほほほ・・・

Memo



A series of horizontal dashed lines for writing, starting from the top of the page and extending down to the bottom. The lines are evenly spaced and cover most of the page's width.



ここまで市の平成 25 年度の予算の大まかな状況を太郎くんとお母さんと一緒に見てきましたが、ここでの内容は市の予算や財政状況を知る上でのほんの最初の一步といったものとなっています。

市では、この他に各年度の具体的な事業をとりまとめた「予算説明書」や「予算書」、財政状況をまとめた「財政白書」などの冊子を、いつでも閲覧していただけるように図書館、市役所 1 階の市政情報コーナー、財政課窓口を用意しております。また、これらの冊子は市のホームページからもご覧になれます。

市では、今後も市民の皆さんに、市の予算や財政状況により一層興味をもっていただけるよう、「わかりやすい財政状況の公表」に努めてまいります。

羽村市公式サイト <http://www.city.hamura.tokyo.jp/>



平成 25 年度羽村市の予算 最初の一步！

平成 25 年 3 月発行

発行 羽村市

編集 羽村市財務部財政課

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘 5 丁目 2 番地 1

Tel 042-555-1111(代) 内線 319

Fax 042-554-2921

E-mail s102500@city.hamura.tokyo.jp

URL <http://www.city.hamura.tokyo.jp/>